



校 訓

自立・創造

若 草

平成 23 年 3 月 25 日
尼崎市立若草中学校 (第 19 号)
<http://www.ama-net.ed.jp/school/J07/index.htm>

黙祷そして復興への祈りと支援を

東北関東大震災



土葬で惜別。手を合わせる人達

前号でお知らせしましたが、大震災から 2 週間が過ぎようとしています。本校では、臨時集会、黙祷、道徳授業、生徒会集会、義援金運動と、今私達にできることを進めてきました。次第に、東日本の被災された方々の実態が明らかになってきました。24 日(木)の時点で、死者 9 5 2 3 人、行方不明者 1 万 6 0 9 4 人、避難民が約 2 6 万人となっており、未だに身元の分からない遺体が多数残っており、火葬に要する燃料もなく、やむなく土葬している市町村が多いと聞きます。

そんな中で、9 日ぶりに救出された 80 歳の祖母と 16 歳の孫の話に、心温まる思いがしました。しかし、被災した福島第一原子力発電所からの放射能漏れのニュースが、被災地の住民に大きな不安を与えています。ただ、寝る間も惜しまず、放射能と闘いながら、わが命をかけて、日夜一所懸命、原発の修復に取り組んでおられる人たちがいます。原発職員・自衛隊員・消防隊員・警察署員・警視庁ハイパーレスキュー隊員の方々が、私達日本国民のために、規定量以上の被ばくを覚悟でがんばっておられる姿には頭が下がります。ただただ、感謝しかありません。

一方で、まだまだ予断を許さないとはいえ、原発に修復のための電源が入り、原子炉を冷やすための給水ポンプの稼働にめどがついたことは、うれしいニュースです。ただ、漏れ出た放射能物質が被災地周辺の農業・牧畜業・漁業に大きなダメージを与え、廃業に追い込まれる方も多いと聞きます。また、流通する農作物・乳製品・魚などへの影響も考えられます。



そういった損害もすべて含めて、今回の大地震・大津波による被害総額は、25 兆円に上ると言われています。

そこで、もう一度問います。「今、私達に何ができるでしょうか。」

お子様とともに、募金だけでなく、節約・節約・節約・ボランティア・掃除・片付け・思いやり・原発への考え方・災害への備え...など、ご家族で話し合われてはいかがでしょうか。

チャリティーコンサートのお知らせ

本校と杭瀬小学校が、杭瀬商店街の皆さんのご協力を得ながら、東北関東大震災の義援金の募金活動の一環として、チャリティーコンサートを開くことになりました。コンサートに当たっては、吹奏楽部の友成先生・浦先生が動いてくれました。吹奏楽部員や生徒会執行部の生徒達もやる気満々です。ご案内をしますので、ぜひご覧に来ていただき、募金いただければ幸いです。

東北関東大震災義援金



日 時 4 月 2 日 (土) 14:00 ~ 16:00
場 所 杭瀬栄町 EAST 商店街 (スーパー「サンエー」前)
参 加 本校吹奏楽部・本校生徒会執行部・杭瀬小学校児童会
後 援 杭瀬栄町 EAST 商店振興組合

公立高校一般入試の結果(3 月 23 日現在)

	校名	受検者		合格者			校名	受検者		合格者	
		男子	女子	男子	女子			男子	女子	男子	女子
全 日 制 普 通 科	尼崎小田	11	6	14	6	単位制	尼崎稲園	1	3	1	3
	県立尼崎	6	11	1	11	総合学科	武庫荘総合	1	3	1	3
	尼崎北	5	2	5	2	全日制 実業科	県尼工(群)	3	0	2	0
	尼崎西	3	2	1	0		県尼工(建築)	2	0	2	0
	市立尼崎	2	3	2	3		市双星(電気)	1	0	0	0
	尼崎双星	1	5	1	4	定時制	市尼工(電気)	2	0	2	0
	合 計	28	29	24	26		市内(商業)	1	4	1	4

県立尼崎を受検して県小田に回し合格の生徒が 3 名います

「あきらめないで！」

チリ鉱山のウルスアさんのエール



チリ鉱山の作業員のリーダーの「ルイス・ウルスアさん」からの、今回の東北関東大震災の被災者に励ましのメッセージです。

「生き抜くための鍵は、どんなときも希望を持ち続け、闘い続けること。団結し、生きることをあきらめないこと。ニュースを見ていると、日本人はこれを実践していると思います。また、一からやり直せばいいのです。困難を克服するのに、まわりからの助けは欠かせません。『一人ではない』『他の人々に大切に思われているんだ』と感じられるからです。33 人のリーダーとして、被災された日本の皆さん一人ひとりに、我々からの温かいメッセージを伝えたい。前向きになってください。決して希望を失わないでください。私達 33 人の魂も、世界の多くの人々の魂も、つらい思いをしているあなた方に寄り添っています。ルイス・ウルスア」

ありがとうございます。世界中の人々が日本を応援し、支援してくださっています。

「がんばろう、日本！」

先日、選抜高校野球の開会式で、創志学園の野山主将の宣誓です。



「人は仲間に支えられることで、大きな困難を乗り越えることができると信じています。私達に今できること。それはこの大会を精一杯元気に戦うことです。がんばろう、日本。」

被災地の東北高校など、被災されている方々に元気を与えるための開催だと聞いています。「がんばろう、日本」のメッセージは、14 年前の阪神淡路大震災のときも、スローガンになりました。

私達、若中生も、今何ができるのかと考えることで、今の自分を振り返り、新しい自分・がんばれる自分・進んでやる自分に生まれ変わってほしいと願います。

がんばろう、若草！

来年度への課題 学校関係者評価より

学校評議員さんや地域の学校の先生などから『学校関係者評価』をいただきました。

【評価の概要】「熱心に取り組んでおり今後期待できる」

先生達が丸丸となって教育に取り組んでいる
生徒指導や部活動指導など熱心に取り組んでいる
授業は概ねしっかりできているが、家庭学習対策や授業の工夫などにやや努力が必要ではないか
保護者への広報は評価できるが、地域や保護者とのふれあいが少ない

【改善への方向性】

学校が組織として『授業改善』に積極的に取り組む
部活動だけでなく、生徒会活動(自治活動)で生徒の自主性や社会性や意欲を育む
地域や保護者とのふれあい体験活動を充実させる
生徒や保護者の皆さんからのアンケートをもとに私達が行った『自己評価』を見ていただいて判断された評価です。

保護者の皆様へー この学校だより「若草」も最終号になりました。これまで、本校の教育に対してご理解・ご協力をいただいたことを深く感謝いたします。ありがとうございます。私達教職員は来年度も一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。校長 高木 貴久